



発行所
神戸新聞社

神戸市中央区夙川崎町

1-5-7

郵便番号 650-71

振替口座 02-01190-7-20

©神戸新聞社 1996年

電話 (078) 362局

読者センター 7056

広報部 7025

社会部 7040 運動部 7095

経済部 7094 写真部 7047

文化部 7044 販売局 7066

生活部 7045 広告局 7081

メディア7 7055 文化 7086

開発局 7055 事業局 7086

人と自然の共生で2シンポジウム

神戸

きょう
甲南大学

環境教育の課題を

あす国際
会議場

震災と意識改革で

震災を教訓に、「人と自然の共生をめざして」をテーマにした二つのシンポジウムが十四、十五両日、神戸国際会議場と甲南大学で開かれる。都市を襲った大地震と、それに伴うボランティア活動で人々の意識がどう変わったかを探り、環

境教育の課題を考えるのが狙い。哲学や教育学だけでなく、地理学や心理学など

の研究者が集まる。十四日は甲南大学八号館で、中国やアメリカ、ドイツなどから環境教育の専門家を招いた国際シンポジウム

「環境倫理と環境教育」。

午前中、タイのラジャバト大学環境教育センターのラダワン・カンハスワン所長や中国中央教育科学研究所の金世柏名哲學術委員らが、それぞれ自国の慣習や宗教に基づいた環境思想について報告。午後からエコロジー哲学に関する記念講

演と、シンポジウムが開かれる。午前九時半から午後六時十分。定員五百人、参加費五百円。

十五日は、神戸国際会議場で「震災体験と人々の意識改革」の公開シンポジウム。午前中は、日本保健医療行動科学会や環境教育学会関西支部による「災害と環境教育」の研究発表。午後から神戸市立御影小の辰見武宏教諭や、淡路・北淡町立北淡西中の古川英治教諭ら、被災地の教諭らと交えて、子どもたちの意識がどう変わったかを話し合う。午前十時から午後五時。定員三百六十人、無料。